



平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月3日

上場会社名 オエノンホールディングス株式会社
 コード番号 2533 URL <http://www.oenon.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西永 裕司

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション室長 (氏名) 牛込 真澄

TEL 03-3575-2777

四半期報告書提出予定日 平成30年8月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	38,390	1.9	857	6.2	868	4.8	559	3.2
29年12月期第2四半期	37,662	△2.2	807	△12.1	828	9.6	541	7.4

(注)包括利益 30年12月期第2四半期 675百万円 (31.8%) 29年12月期第2四半期 512百万円 (47.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	9.26	—
29年12月期第2四半期	8.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第2四半期	53,158	21,535	36.6
29年12月期	54,463	21,300	35.2

(参考)自己資本 30年12月期第2四半期 19,441百万円 29年12月期 19,180百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	—	—	7.00	7.00
30年12月期	—	—	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	1.6	1,950	5.2	1,950	2.3	1,000	△20.8	16.55

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期2Q	65,586,196 株	29年12月期	65,586,196 株
② 期末自己株式数	30年12月期2Q	5,155,505 株	29年12月期	5,155,093 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期2Q	60,430,899 株	29年12月期2Q	60,926,030 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画の元となる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

○第2四半期決算 参考資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外社会情勢の緊迫化による不確実性や金融資本市場の変動などのリスクがあるものの、企業業績や雇用情勢の改善を背景に緩やかな回復基調で推移しました。

このような経営環境の下、当社グループは中長期戦略「長期ビジョン100」の実現、「中期経営計画2020」の達成に向けて、グループの持続的な成長及び中長期的な企業価値の向上を図るべく、「長期ビジョン100」で掲げた重要課題である5本の柱への取組みを進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、38,390百万円(前年同期比1.9%増)となりました。利益面では、営業利益は857百万円(前年同期比6.2%増)、経常利益は868百万円(前年同期比4.8%増)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は559百万円(前年同期比3.2%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

販売実績

セグメントの名称	アイテム	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日) (百万円)	前年同期比 (%)	
酒類	和酒部門	焼酎	19,308	103.5
		チューハイ	3,435	118.7
		清酒	2,217	84.2
		合成清酒	1,271	91.5
		販売用アルコール	3,815	99.4
		みりん	198	97.2
		30,246	102.1	
	洋酒部門	3,138	103.5	
その他の部門	549	89.4		
	33,934	102.0		
加工用澱粉		1,928	100.5	
酵素医薬品		2,352	102.0	
不動産		164	100.1	
その他		9	95.7	
合計		38,390	101.9	

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

【酒類事業】

酒類事業については、国内の人口減少や少子高齢化、飲酒機会の減少により市場の伸張が期待しにくく、価格競争も激化しております。このような環境の下、消費者の嗜好の変化や多様化に対応すべく商品の拡充を行った結果、売上高は33,934百万円(前年同期比2.0%増)となりました。利益面につきましては、10百万円の営業利益(前年同期は136百万円の営業損失)となりました。

和酒部門のうち焼酎においては、本格焼酎の「博多の華」シリーズ、甲類乙類混和焼酎の「すごむぎ」「すごいも」などが大変好調に推移し、売上高は増加いたしました。「ビッグマン」シリーズにおいては、現ラグビー日本代表のリーチ マイケル氏を起用し、北海道限定で甲類焼酎「ビッグマン」「ビッグマンなまらチューハイ」のTVCMを放映するなど、地域における強みを活かした展開を進めております。また、しその香りを約20倍に高めたしそ焼酎「鍛高譚(たんだかたん)」ではWEB動画「鍛高譚 香り視覚化プロジェクト」の公開に加え、街頭サンプリングイベントを実施するなど、積極的な販売推進活動を展開いたしました。

チューハイ、カクテル等の低アルコール飲料においては、チューハイ「直球勝負」シリーズやPB商品が好調に推移し、売上高は増加いたしました。沖縄県特産の泡盛と沖縄県産シークワーサー果汁を使用したハイボール「シーサーボール」を発売したほか、国産素材にこだわったチューハイ「NIPPON PREMIUM」シリーズに「山形県産佐藤錦のチューハイ」を期間限定で発売するなど、価値志向商品の提案にも取り組みました。

清酒においては、市場の低迷が続いておりますが、純米吟醸酒でありながらお手頃な価格を実現した「福德長 米だけのす〜っと飲めてやさしいお酒 純米吟醸酒」パックが好調に推移しております。なお、平成29酒造年度全国新酒鑑評会において、「大雪乃蔵 鳳雪（ほうせつ）」が金賞を受賞いたしました。

これらの結果、和酒部門の売上高は前年同期に比べ増加いたしました。

洋酒部門においては、輸入ワインの売上が減少したものの、家庭でのサワーづくりを提案する「GODOクラフトサワーズ」が“家飲み”派に好評をいただいたことに加え、「ウイスキー 香薫(こうくん)」やPB商品のウイスキー等が牽引したことにより、売上高は増加いたしました。

その他、しそ焼酎「鍛高譚」「鍛高譚の梅酒」「鍛高譚R」「博多の華 むぎ 三年貯蔵」「博多の華 スモーキーオーク」がモンドセレクション優秀品質金賞を受賞するなど、当社製品の高い品質が評価されました。

【加工用澱粉事業】

加工用澱粉事業については、菓子食品用が減少したものの、ビール用グリッツやシリアル食品用の販売数量が増加したため、売上高は1,928百万円(前年同期比0.5%増)となりました。営業利益は82百万円(前年同期比40.7%減)となりました。

【酵素医薬品事業】

酵素医薬品事業については、国内および海外での酵素部門の販売が好調に推移したため、売上高は2,352百万円(前年同期比2.0%増)となりました。営業利益は設備投資による減価償却費の増加もあり、656百万円(前年同期比4.4%減)となりました。

【不動産事業】

不動産事業については、売上高は164百万円(前年同期比0.1%増)、営業利益は102百万円(前年同期比8.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、53,158百万円となり、前連結会計年度末と比較し1,304百万円の減少となりました。これは主に売上債権の減少によるものであります。

負債につきましては、31,623百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,540百万円の減少となりました。これは主に設備関係電子記録債務の減少等によるものであります。

純資産につきましては、21,535百万円となり、前連結会計年度末と比較して235百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金、その他有価証券評価差額金等の増加によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は1,263百万円となり、前連結会計年度末と比較して66百万円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローにおける資金の増加額は、1,246百万円(前年同期比799百万円増)となりました。これは主に未払酒税の減少額917百万円、仕入債務の減少額307百万円等がありましたものの、売上債権の減少額1,624百万円のほか、減価償却費746百万円等を計上したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローについては、固定資産の取得による支出2,169百万円等がありましたので、2,206百万円(前年同期比486百万円減)の資金減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローについては、配当金の支払額424百万円、長期借入金の返済による支出400百万円等がありましたものの、短期借入金の純増加額1,750百万円がありましたので、894百万円(前年同期比89百万円増)の資金増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成30年2月9日発表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計上の見積りの変更)

当社は、平成30年5月開催の取締役会において本社移転に関する決議をいたしました。この本社移転に伴い利用不能となる固定資産について耐用年数を残存使用見込期間まで短縮し、将来にわたり変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,334	1,267
受取手形及び売掛金	20,454	18,830
商品及び製品	6,166	6,427
仕掛品	220	261
原材料及び貯蔵品	1,210	1,329
繰延税金資産	649	573
その他	491	432
貸倒引当金	△11	△8
流動資産合計	30,515	29,112
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,526	25,690
減価償却累計額	△18,860	△19,090
建物及び構築物（純額）	6,666	6,600
機械装置及び運搬具	31,542	31,771
減価償却累計額	△28,823	△29,032
機械装置及び運搬具（純額）	2,719	2,738
土地	9,851	9,837
建設仮勘定	1,558	1,646
その他	2,044	2,050
減価償却累計額	△1,854	△1,876
その他（純額）	190	173
有形固定資産合計	20,985	20,997
無形固定資産		
のれん	200	168
その他	270	310
無形固定資産合計	470	479
投資その他の資産		
投資有価証券	1,905	2,001
繰延税金資産	239	225
その他	354	350
貸倒引当金	△7	△6
投資その他の資産合計	2,491	2,570
固定資産合計	23,947	24,046
資産合計	54,463	53,158

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,446	5,135
電子記録債務	1,275	1,278
短期借入金	3,100	4,850
未払金	4,320	4,001
未払酒税	9,338	8,421
未払法人税等	245	263
賞与引当金	60	60
役員賞与引当金	41	22
設備関係支払手形	191	362
設備関係電子記録債務	1,722	101
その他	1,493	1,444
流動負債合計	27,236	25,942
固定負債		
長期借入金	800	400
長期預り金	3,169	3,361
繰延税金負債	375	415
役員株式給付引当金	15	25
退職給付に係る負債	1,284	1,205
資産除去債務	122	118
その他	159	154
固定負債合計	5,927	5,680
負債合計	33,163	31,623
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,946	6,946
資本剰余金	5,594	5,594
利益剰余金	7,240	7,373
自己株式	△1,194	△1,194
株主資本合計	18,587	18,719
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	590	658
繰延ヘッジ損益	11	8
退職給付に係る調整累計額	△8	54
その他の包括利益累計額合計	593	721
非支配株主持分	2,119	2,094
純資産合計	21,300	21,535
負債純資産合計	54,463	53,158

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	37,662	38,390
売上原価	30,516	31,134
売上総利益	7,145	7,256
販売費及び一般管理費	6,338	6,398
営業利益	807	857
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	19	21
受取賃貸料	40	43
雑収入	49	34
営業外収益合計	110	98
営業外費用		
支払利息	48	42
操業休止等経費	19	14
為替差損	—	22
雑損失	20	8
営業外費用合計	89	87
経常利益	828	868
特別利益		
固定資産売却益	—	5
その他	—	0
特別利益合計	—	5
特別損失		
固定資産除売却損	3	28
施設利用権処分損	2	—
その他	0	5
特別損失合計	5	34
税金等調整前四半期純利益	822	839
法人税等	251	291
四半期純利益	570	547
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	28	△11
親会社株主に帰属する四半期純利益	541	559

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	570	547
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	66
繰延ヘッジ損益	△75	△2
退職給付に係る調整額	7	63
その他の包括利益合計	△58	127
四半期包括利益	512	675
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	483	687
非支配株主に係る四半期包括利益	29	△12

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	822	839
減価償却費	756	746
のれん償却額	31	31
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△10	△79
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△15	△2
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△30	△19
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	5	10
受取利息及び受取配当金	△19	△21
支払利息	48	42
固定資産売却益	—	△5
固定資産除売却損	3	28
売上債権の増減額 (△は増加)	4,597	1,624
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△156	△420
仕入債務の増減額 (△は減少)	△999	△307
未払酒税の増減額 (△は減少)	△3,510	△917
その他	△673	△93
小計	849	1,457
利息及び配当金の受取額	19	21
利息の支払額	△71	△62
法人税等の支払額	△351	△169
営業活動によるキャッシュ・フロー	447	1,246
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△1,698	△2,169
固定資産の除売却による収支 (△は支出)	△1	18
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
その他	△17	△52
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,720	△2,206
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,050	1,750
長期借入金の返済による支出	△410	△400
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△13	△17
配当金の支払額	△433	△424
非支配株主への配当金の支払額	△12	△12
連結範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△29	△0
自己株式の取得による支出	△55	△0
自己株式取得目的の金銭の信託の設定による支出	△300	—
自己株式取得目的の金銭の信託の終了による収入	10	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	804	894
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△468	△66
現金及び現金同等物の期首残高	1,883	1,329
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,415	1,263

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	合計			
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	33,261	1,918	2,306	164	37,652	9	—	37,662
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	6	—	—	—	6	—	△6	—
計	33,268	1,918	2,306	164	37,658	9	△6	37,662
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△136	139	686	112	801	5	—	807

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。

2 調整額は、セグメント間の取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年1月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	合計			
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	33,934	1,928	2,352	164	38,380	9	—	38,390
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2	—	—	—	2	—	△2	—
計	33,936	1,928	2,352	164	38,383	9	△2	38,390
セグメント利益	10	82	656	102	852	4	—	857

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。

2 調整額は、セグメント間の取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

(耐用年数の変更)

「会計上の見積りの変更」に記載のとおり、当社は、平成30年5月開催の取締役会において本社移転に関する決議をいたしました。この本社移転に伴い利用不能となる固定資産について耐用年数を残存使用見込期間まで短縮し、将来にわたり変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間のセグメント利益への影響は軽微であります。

平成30年12月期 第2四半期決算 参考資料

1. 要約連結損益計算書
2. セグメント別売上高
3. 利益増減要因
4. 要約連結貸借対照表
5. 連結業績予想
6. 予想売上高

オエノンホールディングス株式会社

平成30年8月3日

1. 要約連結損益計算書

百万円未満切捨て

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減(△)	前年対比(%)
	自平成29年1月1日 至平成29年6月30日	自平成30年1月1日 至平成30年6月30日		
酒類事業	33,261	33,934	672	102.0
加工用澱粉事業	1,918	1,928	9	100.5
酵素医薬品事業	2,306	2,352	45	102.0
不動産事業その他	174	174	△ 0	99.8
売上高	37,662	38,390	727	101.9
売上原価	30,516	31,134	617	102.0
売上総利益	7,145	7,256	110	101.5
販売費及び一般管理費	6,338	6,398	59	100.9
酒類事業	△ 136	10	147	-
加工用澱粉事業	139	82	△ 56	59.3
酵素医薬品事業	686	656	△ 30	95.6
不動産事業その他	117	107	△ 10	91.3
営業利益	807	857	50	106.2
営業外収益	110	98	△ 11	89.4
営業外費用	89	87	△ 1	98.3
経常利益	828	868	40	104.8
特別利益	-	5	5	-
特別損失	5	34	28	589.8
税金等調整前四半期純利益	822	839	17	102.1
法人税等合計	251	291	40	115.9
四半期純利益	570	547	△ 22	96.0
非支配株主に帰属する四半期純利益	28	△ 11	△ 40	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	541	559	17	103.2
1株当たり四半期純利益※円	8.89	9.26	0.37	104.2
設備投資額	1,680	706	△ 973	42.1

2. セグメント別売上高

百万円未満切捨て

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減(△)	前年対比(%)
	自平成29年1月1日 至平成29年6月30日	自平成30年1月1日 至平成30年6月30日		
焼酎	18,655	19,308	652	103.5
（甲類焼酎）	(7,539)	(7,447)	(△92)	(98.8)
（乙類焼酎）	(11,115)	(11,860)	(745)	(106.7)
チューハイ	2,894	3,435	541	118.7
清酒	2,634	2,217	△417	84.2
合成清酒	1,389	1,271	△118	91.5
アルコール	3,836	3,815	△21	99.4
みりん	203	198	△5	97.2
洋酒	3,033	3,138	105	103.5
その他	614	549	△64	89.4
酒類計	33,261	33,934	672	102.0
加工用澱粉	1,918	1,928	9	100.5
酵素医薬品	2,306	2,352	45	102.0
不動産	164	164	0	100.1
その他	9	9	△0	95.7
合計	37,662	38,390	727	101.9

3. 利益増減要因

百万円未満切捨て

	利益増減(△)	主な増減要因
酒類事業	147	運送費など販管費の増△73 売上高増加による総利益増+115 償却費など製造経費の減+110 製品構成の影響等△5
加工用澱粉事業	△ 56	製品構成の影響等
酵素医薬品事業	△ 30	減価償却費等の増加
不動産事業その他	△ 10	
営業利益	50	
営業外収益	△ 11	前年: 為替差益
営業外費用	1	
経常利益	40	
特別利益	5	固定資産売却益の増
特別損失	△ 28	固定資産除却損の増
税金等調整前四半期純利益	17	
法人税等	△ 40	
四半期純利益	△ 22	
非支配株主に帰属する四半期純利益	40	
親会社株主に帰属する四半期純利益	17	

4. 要約連結貸借対照表

百万円未満切捨て

	前連結会計年度 平成29年12月31日	当第2四半期 連結会計期間 平成30年6月30日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(資産の部)					
現金及び預金	1,334	1,267	△ 66	95.0	
受取手形及び売掛金	20,454	18,830	△ 1,624	92.1	季節要因による売上高減
たな卸資産	7,597	8,018	420	105.5	
繰延税金資産	649	573	△ 75	88.3	
その他	491	432	△ 59	88.0	
貸倒引当金	△ 11	△ 8	2	-	
流動資産合計	30,515	29,112	△ 1,403	95.4	
建物	5,544	5,458	△ 85	98.5	
土地	9,851	9,837	△ 13	99.9	
その他	5,589	5,700	110	102.0	
有形固定資産計	20,985	20,997	11	100.1	
無形固定資産	470	479	8	101.7	
投資有価証券	1,905	2,001	95	105.0	
長期前払費用	128	124	△ 4	96.8	
繰延税金資産	239	225	△ 14	94.1	
その他	225	226	0	100.2	
貸倒引当金	△ 7	△ 6	0	-	
投資その他の資産計	2,491	2,570	78	103.2	
固定資産合計	23,947	24,046	98	100.4	
資産合計	54,463	53,158	△ 1,304	97.6	

百万円未満切捨て

	前連結会計年度 平成29年12月31日	当第2四半期 連結会計期間 平成30年6月30日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(負債の部)					
支払手形及び買掛金	6,721	6,413	△ 307	95.4	
短期借入金	3,100	4,850	1,750	156.5	
未払金	4,320	4,001	△ 318	92.6	季節要因による売上高減(割戻減)
未払酒税	9,338	8,421	△ 917	90.2	季節要因による売上高減
その他	3,754	2,254	△ 1,499	60.1	設備電子記録債務の減
流動負債合計	27,236	25,942	△ 1,293	95.3	
長期借入金	800	400	△ 400	50.0	
その他	5,127	5,280	153	103.0	
固定負債合計	5,927	5,680	△ 246	95.8	
負債合計	33,163	31,623	△ 1,540	95.4	
(純資産の部)					
資本金	6,946	6,946	-	100.0	
資本剰余金	5,594	5,594	0	100.0	
利益剰余金	7,240	7,373	132	101.8	
自己株式	△ 1,194	△ 1,194	△ 0	-	
株主資本合計	18,587	18,719	132	100.7	
その他有価証券評価差額金	590	658	67	111.4	
繰延ヘッジ損益	11	8	△ 2	79.8	
退職給付に係る調整累計額	△ 8	54	63	-	
その他の包括利益累計額合計	593	721	128	121.7	
非支配株主持分	2,119	2,094	△ 25	98.8	
純資産合計	21,300	21,535	235	101.1	
負債純資産合計	54,463	53,158	△ 1,304	97.6	

自己資本比率※%	35.2	36.6	1.4	
----------	------	------	-----	--

5. 連結業績予想

百万円未満切捨て

	前連結会計年度 自 平成29年 1月 1日 至 平成29年12月31日	当連結会計年度 自 平成30年 1月 1日 至 平成30年12月31日	増減(△)	前年対比(%)
酒類事業	70,450	71,651	1,201	101.7
加工用澱粉事業	3,772	3,710	△ 62	98.4
酵素医薬品事業	4,162	4,290	128	103.1
不動産事業その他	354	347	△ 7	97.9
売上高	78,739	80,000	1,260	101.6
売上原価	63,901	64,958	1,056	101.7
売上総利益	14,838	15,042	203	101.4
販売費及び一般管理費	12,985	13,092	106	100.8
酒類事業	211	426	214	201.5
加工用澱粉事業	241	115	△ 126	47.6
酵素医薬品事業	1,155	1,185	29	102.5
不動産事業その他	244	224	△ 20	91.5
営業利益	1,853	1,950	96	105.2
営業外損益	53	0	△ 53	-
経常利益	1,906	1,950	43	102.3
特別損益	△ 251	△ 250	1	-
税金等調整前当期純利益	1,655	1,700	44	102.7
法人税等合計	396	631	234	159.2
当期純利益	1,258	1,068	△ 190	84.9
非支配株主に帰属する当期純利益	△ 4	68	73	-
親会社株主に帰属する当期純利益	1,263	1,000	△ 263	79.2

6. 予想売上高

百万円未満切捨て

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減(△)	前年対比(%)
	自 平成29年 1月 1日 至 平成29年12月31日	自 平成30年 1月 1日 至 平成30年12月31日		
焼酎	39,631	41,167	1,536	103.9
(甲 類 焼 酎)	(15,310)	(15,502)	(191)	(101.2)
(乙 類 焼 酎)	(24,320)	(25,665)	(1,345)	(105.5)
チ ュ ー ハ イ	6,517	7,488	971	114.9
清 酒	5,431	4,614	△ 817	85.0
合 成 清 酒	3,001	2,818	△ 183	93.9
ア ル コ ー ル	7,526	7,533	6	100.1
み り ん	480	477	△ 3	99.4
洋 酒	6,648	6,403	△ 244	96.3
そ の 他	1,213	1,148	△ 64	94.7
酒 類 計	70,450	71,651	1,201	101.7
加 工 用 澱 粉	3,772	3,710	△ 62	98.4
酵 素 医 薬 品	4,162	4,290	128	103.1
不 動 産	334	326	△ 8	97.6
そ の 他	20	20	0	102.9
合 計	78,739	80,000	1,260	101.6